



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ビーネックスグループ 上場取引所 東
 コード番号 2154 URL <https://www.benext.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 穂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐藤 博 TEL 03-5777-7727
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	17,743	△12.9	856	△33.0	1,007	△18.5	590	△21.6
2020年6月期第1四半期	20,366	8.8	1,278	20.4	1,236	15.5	753	13.3

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 494百万円 (△9.3%) 2020年6月期第1四半期 545百万円 (9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	13.78	13.73
2020年6月期第1四半期	17.77	17.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	28,401	14,186	49.5
2020年6月期	31,730	14,765	46.2

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 14,062百万円 2020年6月期 14,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2021年6月期	—				
2021年6月期（予想）		17.00	—	25.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	37,378	△8.6	1,831	△33.2	1,826	△32.8	981	△40.5	22.90
通期	77,800	△4.8	4,800	2.9	4,800	0.6	2,700	102.2	63.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	42,853,700株	2020年6月期	42,851,700株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	1,569株	2020年6月期	1,569株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	42,851,674株	2020年6月期1Q	42,384,668株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年11月13日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会の他にも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しております。開催の予定等については、当社ウェブサイトをご確認下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は17,743百万円(前年同期比12.9%減)となりました。技術系領域の売上高は微減に留まったものの、製造系領域および海外領域においてコロナ禍での市況悪化により大幅な減収となりました。利益面では、技術系領域においても稼働率が低下した為、営業利益は856百万円(前年同期比33.0%減)、経常利益は1,007百万円(前年同期比18.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は590百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりです。なお、セグメント別の売上高は外部顧客への売上高を適用しております。

また、前連結会計年度に実施した持株会社体制への移行にともない、当社はグループ経営管理を行う持株会社となったことから、当連結会計年度より当社の業績を、全社費用に含めております。

[技術系領域](顧客企業の研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託事業)

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響での解約等は見られなかったものの、例年見込まれていた配属の延期などにより稼働率が改善せず、また稼働日数や残業時間が減少した結果、当セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は10,657百万円(前年同期比0.4%減)、セグメント利益は1,085百万円(前年同期比19.4%減)となりました。

[製造系領域](顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業)

当第1四半期連結累計期間においては、緊急事態宣言の解除後も顧客企業における生産回復の動きは弱く、稼働社員数の漸減傾向が続きました。この結果、当セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は1,935百万円(前年同期比19.0%減)、セグメント利益は30百万円(前年同期比53.3%減)となりました。

[海外領域](日本国外における技術・製造分野に対する派遣・請負や、有料職業紹介などの人材サービス事業)

当第1四半期連結累計期間においては、英国でのロックダウンにより労働力需要が大幅に低下いたしました。これに対し、固定費の削減や公的支援の活用を進めたこと、及び英国事業の将来収益を慎重に捉え前連結会計年度にのれんの減損損失を特別損失に計上し、のれん償却額が減少したこと等により、売上高は5,150百万円(前年同期比29.2%減)、セグメント利益は29百万円(前年同期比31.5%増)となりました。

[その他]

報告セグメントに含まれない領域として、特例子会社(株式会社ビーネックスウィズ)において障がい者雇用を推進しており、主にグループ間でのフラワーアレンジメント制作物の納品や梱包軽作業などを行っております。当第1四半期連結累計期間においては、売上高は内部取引を含めて37百万円(前年同期比14.8%減)、セグメント損失は77百万円(前年同期はセグメント損失41百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,329百万円減少(10.5%減)し、28,401百万円となりました。主たる変動項目は、配当及び未払法人税等の支払による現金及び預金の減少3,099百万円、償却によるのれんの減少179百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて2,750百万円減少(16.2%減)し、14,214百万円となりました。主たる変動項目は、未払費用の減少1,509百万円、短期借入金の減少1,225百万円、未払法人税等の減少1,109百万円及び流動負債のその他の増加993百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて579百万円減少(3.9%減)し、14,186百万円となりました。主たる変動項目は、親会社株主に帰属する四半期純利益590百万円の計上及び配当金の支払1,071百万円による利益剰余金の減少480百万円、為替換算調整勘定の減少103百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2020年8月7日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,158	8,058
受取手形及び売掛金	10,089	9,776
その他	1,706	2,276
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	22,952	20,112
固定資産		
有形固定資産	943	915
無形固定資産		
のれん	4,501	4,321
その他	688	645
無形固定資産合計	5,189	4,966
投資その他の資産	2,644	2,406
固定資産合計	8,777	8,289
資産合計	31,730	28,401
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,615	1,390
1年内償還予定の社債	196	196
未払金	1,926	1,978
未払費用	4,575	3,066
未払法人税等	1,361	251
未払消費税等	2,651	2,483
賞与引当金	1,420	2,397
その他	767	1,761
流動負債合計	15,515	13,525
固定負債		
社債	518	420
退職給付に係る負債	71	73
その他	859	195
固定負債合計	1,449	688
負債合計	16,964	14,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,372	4,373
資本剰余金	2,768	2,764
利益剰余金	7,693	7,212
自己株式	△1	△1
株主資本合計	14,832	14,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△182	△285
その他の包括利益累計額合計	△182	△286
新株予約権	1	1
非支配株主持分	114	122
純資産合計	14,765	14,186
負債純資産合計	31,730	28,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	20,366	17,743
売上原価	16,239	14,632
売上総利益	4,127	3,111
販売費及び一般管理費	2,848	2,254
営業利益	1,278	856
営業外収益		
受取利息	1	0
助成金収入	10	136
受取補償金	—	67
為替差益	—	1
持分法による投資利益	—	9
その他	1	8
営業外収益合計	13	223
営業外費用		
支払利息	25	22
為替差損	16	—
持分法による投資損失	8	—
非支配株主に係る売建プット・オプション負債の 評価損	—	48
その他	4	1
営業外費用合計	55	72
経常利益	1,236	1,007
特別損失		
固定資産除却損	1	7
特別損失合計	1	7
税金等調整前四半期純利益	1,235	1,000
法人税、住民税及び事業税	303	223
法人税等調整額	160	176
法人税等合計	464	399
四半期純利益	771	600
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	753	590

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	771	600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△239	△91
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△15
その他の包括利益合計	△226	△106
四半期包括利益	545	494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	535	486
非支配株主に係る四半期包括利益	9	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の収束時期については不確実性を伴うため、先の見通しが困難ではありますが、当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時点において入手可能な情報に基づいて判断した結果、少なくとも当連結会計年度においてはその影響が続くものと仮定して、固定資産の減損の判断及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。当該見積りについて、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な変更はありません。

当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済環境への影響が変化した場合には、上記の見積りと事後的な結果との間に乖離が生じる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,702	2,388	7,275	20,366	0	20,366	—	20,366
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	2	2	43	46	△46	—
計	10,702	2,388	7,278	20,369	43	20,413	△46	20,366
セグメント利益又は 損失(△)	1,346	65	22	1,434	△41	1,393	△114	1,278

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△114百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△120百万円及びセグメント間取引消去5百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の会社運営に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,657	1,935	5,150	17,743	0	17,743	—	17,743
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	21	21	37	58	△58	—
計	10,657	1,935	5,172	17,764	37	17,802	△58	17,743
セグメント利益又は 損失(△)	1,085	30	29	1,145	△77	1,067	△211	856

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△211百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△267百万円及びセグメント間取引消去55百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社の報告セグメントは、前連結会計年度まで「技術系領域」としておりましたが、持株会社化により最適なグループ・ガバナンスの運営体制が構築されたことに伴い、当第1四半期連結累計期間より当社で発生した費用を全社費用として、調整額に含めております。

この変更は、当社が今後グループ全体の戦略策定、経営資源の最適配分、子会社業務管理を中心とした機能を提供することになったためであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。